

英国における電子情報資源管理の ためのナレッジベース共同構築の 手法およびその活用

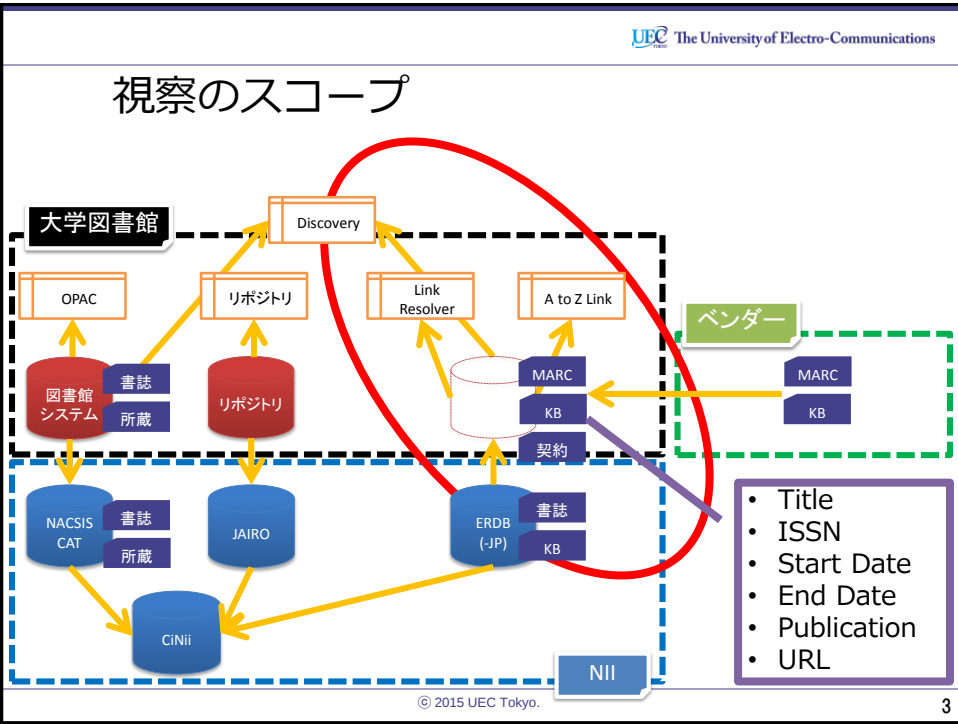
第62回国立大学図書館協会総会 海外派遣報告
平成27年6月18日（木） 15：20～15：25
ホテルニューオータニ熊本 3階「鳳凰の間」
電気通信大学学術情報課学術情報サービス係主任
上野 友稔

The University of Electro-Communications

© 2015 UEC Tokyo.

謝辞

- 本日の報告は、国立大学図書館協会海外派遣事業および電気通信大学の助成による視察の成果です。この場を借りて関係者の方々に御礼申し上げます。
- 特に事業へのご推薦など格別のご配慮を頂いた樋口様（現旭川医科大学）に御礼申し上げます。



UEC The University of Electro-Communications

視察の日程

日付	視察場所	対応者	内容
9月22日 (月)	(移動日)		
9月23日 (火)	The University of Huddersfield	Graham Stone Amy Devenney	• KB+以前の電子情報資源管理
9月24日 (水)	King's College London	Kate Price Nadia Casagrande	• KB+を利用するメリット • サービスへの利活用
9月25日 (木)	JISC Collections	Liam Earney Margaly Bascones	• KB+の現状 • 将来展望
9月26日 (金)	(移動日)		

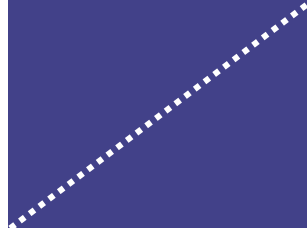
KB+ (Knowledge Base Plus) とは…
英国の大学等でKBを共同構築するプロジェクト
147機関が参加し、エルゼビア等のパッケージ・タイトル情報を管理している。
共同構築されたKBは、主にディスカバリサービスへ反映・活用されている。

© 2015 UEC Tokyo. 4

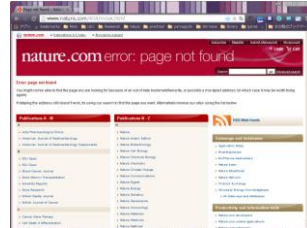
ナレッジベースをめぐる課題

- 図書館での電子リソース情報の管理
- 例：図書館が管理している電子リソース情報と、アクセス可能な電子リソース情報の不一致
- 利用者に対して電子リソースへの適切なナビゲートができない
- 例：出版社間のタイトル移動、URL 変更、アクセスできる巻号の変更のため

電通大の電子リソース情報の管理(スプレッドシート)



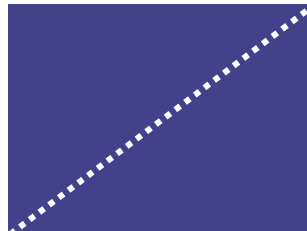
403 error: page not found



ナレッジベース共同構築のメリット

- 電子リソース情報管理の省力化
- 例：中央集中方式（あるいは、パートナー方式）による作業の効率化が期待される。
- 図書館サービスへの利活用
- 例：ディスカバリ、リンク・リゾルバ、AtoZリストなどへ最新のデータを反映させることで、利用者が最新の電子リソース情報を検索・アクセスできる。

KB+のインターフェース



ディスカバリサービス(電通大・UEC Search)



視察の成果から

- 電子リソース情報の適切な管理への貢献
- 例：電子ブックなどの普及に対応した、CATの図書・雑誌情報（紙媒体）の補完が期待される。
- 日本の研究成果情報の海外への流通
- 例：GOKb、KB+等への日本語KBの提供により、研究成果へのアクセス向上が期待される。

これからの学術情報システム構築検討委員会



ERDB-JP



ご静聴ありがとうございました。